

景況感は製造業、非製造業とも改善

目次

	ページ
調査要領	1
1. 概況 -----	2
2. 業況判断 製造業、非製造業とも改善	3
3. 売上 製造業、非製造業とも改善	3
4. 受注 製造業は改善、建設業は悪化	4
5. 経常利益 製造業、非製造業とも悪化	4
6. 在庫 製品在庫は不足感に転じ、商品在庫は過剰感が低下	4
7. 販売価格・仕入価格 販売価格は低下、仕入価格は上昇	5
8. 資金繰り・借入金残高 資金繰りは製造業、非製造業とも改善	5
9. 雇用 製造業、非製造業とも過剰感が上昇	6
10. 設備投資 製造業、非製造業とも増加 補修が主	6
11. 経営上の問題点 「売上・受注の減少」、「先行き見通し難」、「過当競争」が上位	7

調査要領

調査目的	鳥取県内の企業動向を調査し、県内景気の現状及び先行きを把握するため
調査対象	県内企業 208 社、回答企業 102 社、回答率 49.0%
調査方法	各支店を通じるか、または郵送による記名式回答
調査対象期間	平成 22 年 4 ~ 6 月実績及び平成 22 年 7 ~ 9 月予想
調査時点	平成 22 年 7 月上旬 ~ 中旬

業種別回答企業数

		回答企業数	構 成 比	うち中小企業	構 成 比
製 造 業	食 料 品	12	11.8	12	100.0
	織 維 ・ 縫 製	1	1.0	1	100.0
	木 材 ・ 木 製 品	3	2.9	3	100.0
	紙 ・ 紙 加 工 品	4	3.9	4	100.0
	窯 業 ・ 土 石	5	4.9	5	100.0
	金 属 ・ 機 械	12	11.8	11	91.7
	電 気 機 械	14	13.7	13	92.9
	印 刷 ・ そ の 他	6	5.9	6	100.0
計		57	55.9	55	96.5
非 製 造 業	建 設 業	9	8.8	8	88.9
	卸 売 業	17	16.7	15	88.2
	小 売 業	9	8.8	5	55.6
	運 輸 業	4	3.9	4	100.0
	旅 館 ・ ホ テ ル	6	5.9	6	100.0
計		45	44.1	38	84.4
全 部 門 合 計		102	100.0	93	91.2

注：中小企業の範囲

- 製造業・建設業・運輸業... 資本金3億円以下または従業員300人以下の企業
- 卸 売 業..... 資本金1億円以下または従業員100人以下の企業
- 小 売 業..... 資本金5千万円以下または従業員50人以下の企業
- サ ー ビ ス 業..... 資本金5千万円以下または従業員100人以下の企業

BSIとは

ビジネス・サーベイ・インデックスは業況や売上など項目ごとに、企業経営者の「好転」、「不変」、「悪化」の判断を集計し指標化したもので、時系列的に景気の動きを把握するもの。BSIがプラスならば全体として「良い・上昇・好転」とみなされ、逆にマイナスは「悪い・低下・悪化」と判断できる。

1 概況.....県内景況感は製造業、非製造業とも改善

鳥取県企業動向調査によると、平成22年4～6月の「自社業況の総合判断」は、前期1～3月に比べ、製造業では金属・機械や食料品等が改善し、非製造業では卸小売業、旅館・ホテルが改善したため、全産業におけるBSIは3.0と前期（2.0）に比べ5.0ポイント改善した。また、前回調査時(4月)の4～6月予想(5.5)よりも8.5ポイント改善した。

先行き7～9月の景況感は、製造業、非製造業とも悪化が予想されており、全産業におけるBSIは2.0と好転幅が縮小する見込みである。

1 .業種別の景況

製造業の景況感は、前期比3.5ポイント増となり、2四半期連続で改善した。（+9.5 +13.0）

非製造業の景況感は、6.0ポイント改善したが、53四半期連続の悪化となった。（15.0 9.0）

2 .売上高の景況

売上高のBSIは、製造業では食料品が増加に転じ、金属・機械で増加幅が拡大したため、増加幅が拡大した。非製造業では卸売業等で減少幅が縮小し、小売業で増加幅が拡大したため、減少幅が縮小した。全産業では増加に転じた。（2.5 +6.0）

3 .受注高の景況

受注高のBSIは、建設業では減少に転じたが、製造業では金属・機械で増加幅が拡大し、食料品等で

減少幅が縮小したことから、全産業では2.0ポイント増加幅が拡大した。（+10.0 +12.0）

4 .経常利益の景況

経常利益のBSIは、製造業では窯業・土石で増加幅が縮小し、非製造業では運輸業が減少に転じたことなどから、全産業では減少に転じた。（±0.0 2.5）

5 .販売価格、仕入価格の景況

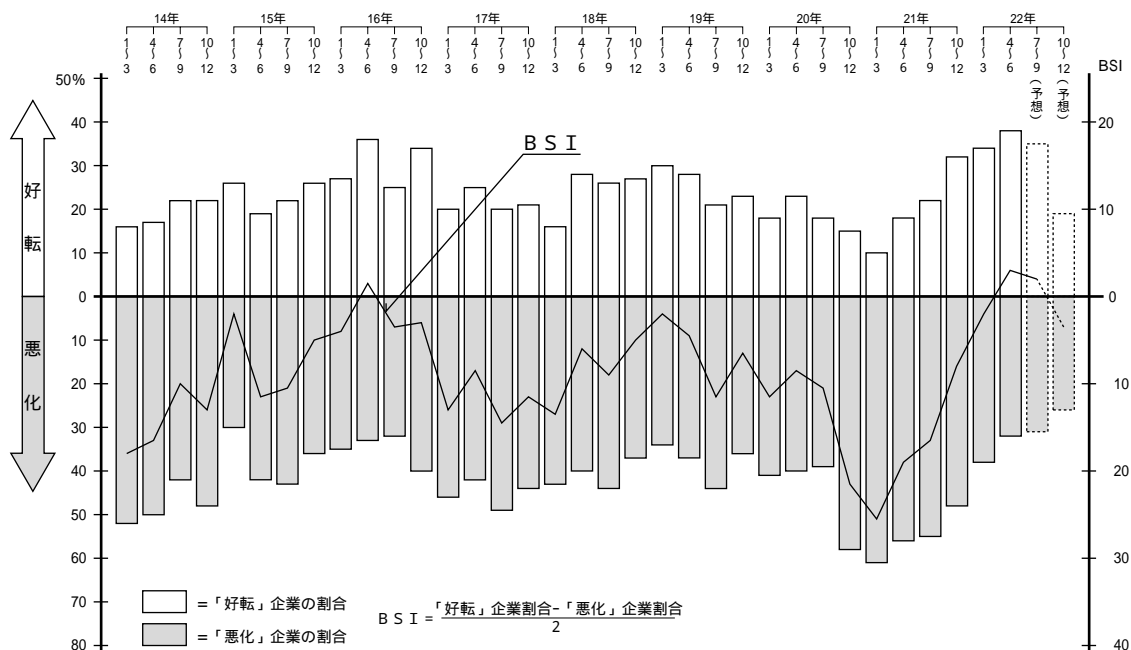
販売価格のBSIは、製造業では窯業・土石が減少に転じ、金属・機械等で低下幅が拡大したが、非製造業では5業種すべてで低下幅が縮小したことから、全産業では4.0ポイント低下幅が縮小した。（14.5 10.5）

仕入価格のBSIは、製造業では電気機械と紙・紙加工品で、非製造業では建設業と卸売業で上昇幅が拡大したことなどから、全産業でも8.0ポイント上昇幅が拡大した。（+2.5 +10.5）

6 .経営上の問題点

経営上の問題点(大きいものから2項目の選択)についての上位項目(全産業)は、「売上・受注の減少」を選択する企業が全体の50%で、次いで「先行き見通し難」が44%、「過当競争」が27%、「販売価格の低下」が20%、「仕入価格の上昇」が12%となった。

図 - 1 自社業況の総合判断の推移



2 業況判断.....製造業、非製造業とも改善

自社の業況が前年同期に比べて好転しているか、悪化しているかについて、経営者の判断を示す「自社業況の総合判断」におけるBSI(好転の割合 - 悪化の割合)÷2は、22年4～6月は+3.0で1～3月の2.0より5.0ポイント、前回(22年4月)調査の先行き予想の5.5よりも8.5ポイント改善し、好転した。

今後のBSIについては、7～9月は+2.0と好転幅が縮小し、10～12月は3.5と悪化に転じる見込み。

製造業のBSIは、窯業・土石と紙・紙加工品で好転幅が縮小したが、金属・機械等で好転幅が拡大し、食料品で悪化幅が縮小したことから、4～6月は+13.0で1～3月の+9.5から3.5ポイント好転幅が拡大した。先行き7～9月は食料品が好転し、紙・紙加工品等で

好転幅が拡大するも、電気機械で好転幅が縮小し、窯業・土石が悪化に転じることから+9.5、10～12月は繊維・縫製や木材・木製品等で悪化幅が縮小するも、金属・機械と電気機械で好転幅が縮小することなどから+4.0と好転幅の縮小が予想される。

非製造業のBSIは、運輸業と建設業が悪化に転じたが、他3業種で悪化幅が縮小したことから、4～6月は9.0と1～3月の15.0から6.0ポイント悪化幅が縮小した。先行き7～9月は、建設業の好転、旅館・ホテルの悪化幅縮小が見込まれるも、8.0と1.0ポイントの改善にとどまり、10～12月は卸売業の悪化幅拡大、建設業の好転幅縮小により、5四半期ぶりに悪化幅が拡大する予想となっている。

図 - 2 業況総合判断 (製造業)

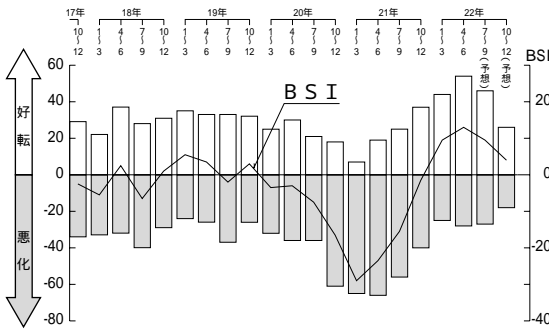
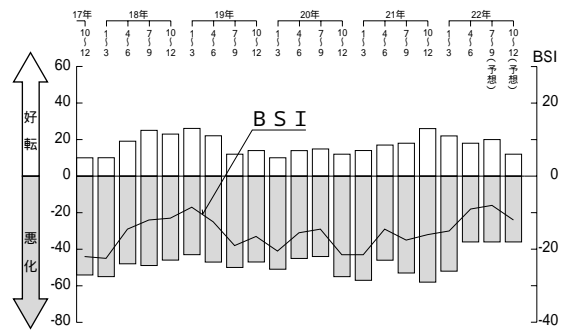


図 - 3 業況総合判断 (非製造業)



3 売上.....製造業、非製造業とも改善

製造業は増加幅が拡大し、非製造業は減少幅が縮小した。

製造業のBSIは、窯業・土石や紙・紙加工品等で増加幅が縮小したが、食料品が増加に転じ、金属・機械で増加幅が拡大したことから、22年4～6月は+15.0と1～3月の+6.0から9.0ポイント増加幅が拡大した。7～9月は食料品で増加幅が拡大するも、電気機械で増加幅が縮小することなどから、+14.0と1.0ポイント増加幅が縮小する予想である。

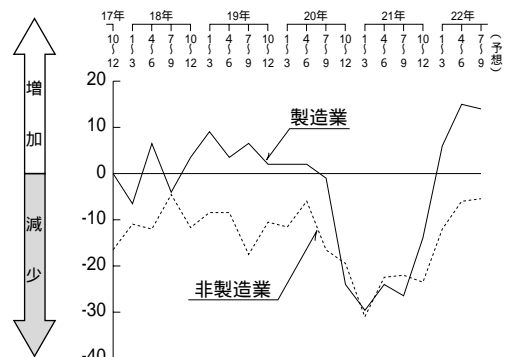
非製造業のBSIは、運輸業が減少に転じるなどしたが、卸売業等で減少幅が縮小し、小売業で増加幅が拡大したことから、4～6月は1～3月の12.0から6.0ポイント改善し、6.0と減少幅が縮小した。7～9月は建設業と旅館・ホテルで減少幅が縮小するも、卸売業の減少幅拡大、小売業の増加幅縮小により5.5とほぼ同水準の予想となっている。

売上高にかかる回答の集計について、全産業(回答企業の加重平均)では、4～6月実績(回答51社)、7～9月予想(回答49社)ともに製造業は増加、非製造業はほぼ同水準という結果となり、前年同期比11.8%の増加、同8.0%の増加見込みである。

産業別にみると、製造業の4～6月(回答33社)実績

は、木材・木製品を除く全業種で増加したことから、同20.1%の増加となった。7～9月(回答32社)予想も、4～6月実績と同様の結果が予想されており、同11.8%の増加見込み。非製造業の4～6月(回答18社)実績は、運輸業や小売業等で増加したが、建設業等で減少したため、同1.3%の増加にとどまり、ほぼ同水準であった。7～9月(回答17社)予想も、4～6月と同様の結果が見込まれている。

図 - 4 売上高のBSI



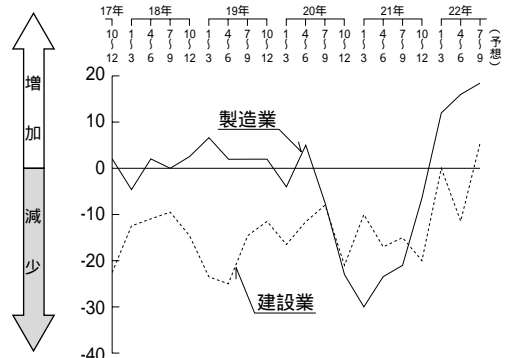
4 受注.....製造業は増加幅が拡大、建設業は再び悪化

製造業は増加幅が拡大し、建設業は減少に転じた。

製造業は、紙・紙加工品や窯業・土石等で増加幅が縮小するなどしたが、金属・機械で増加幅が拡大し、食品と木材・木製品で減少幅が縮小したことから、22年4～6月の受注高BSIは、+16.0と1～3月の+12.0から4.0ポイント増加幅が拡大した。7～9月のBSIは、窯業・土石が減少に転じるが、食品と印刷・その他が増加に転じ、繊維・縫製で減少幅が縮小するため、+18.5と2.5ポイント増加幅が拡大する予想となっている。

建設業における4～6月の受注高BSIは、1～3月の±0.0から11.5ポイント悪化し、減少に転じたが、7～9月のBSIは、+5.5と17.0ポイント改善し、再び増加に転じる見込みである。

図 - 5 受注額のBSI



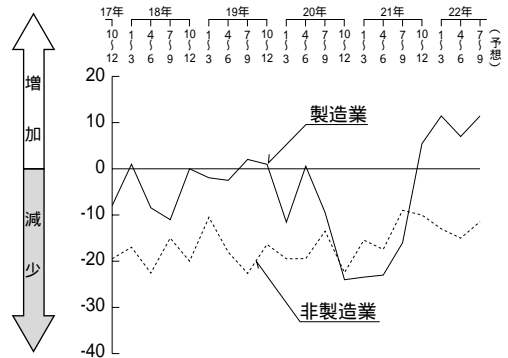
5 経常利益.....製造業、非製造業とも悪化

製造業は増加幅が縮小し、非製造業は減少幅が拡大した。

製造業は、金属・機械で増加幅が拡大し、印刷・その他で減少幅が縮小したものの、窯業・土石等で増加幅が縮小し、紙・紙加工品と食品が減少に転じたことなどから、22年4～6月のBSIは+7.0と1～3月の+11.5から4.5ポイント増加幅が縮小した。7～9月のBSIは、食品で増加に転じ、金属・機械と印刷・その他で増加幅が拡大するため、+11.5と4.5ポイント増加幅が拡大する見込みである。

非製造業は、卸売業と旅館・ホテルで減少幅が縮小したものの、運輸業が減少に転じ、小売業と建設業で減少幅が拡大したことから、4～6月のBSIは、1～3月の13.0から2.0ポイント悪化し、15.0と減少幅が拡大した。7～9月のBSIは、卸売業で減少幅が拡大するが、建設業と小売業、運輸業で減少幅が縮小することから、11.5と3.5ポイント改善し、減少幅が縮小する予想となっている。

図 - 6 経常利益のBSI



6 在庫.....製品在庫は不足感に転じ、商品在庫は過剰感が低下

製品在庫は不足感に転じ、商品在庫は過剰感が低下した。

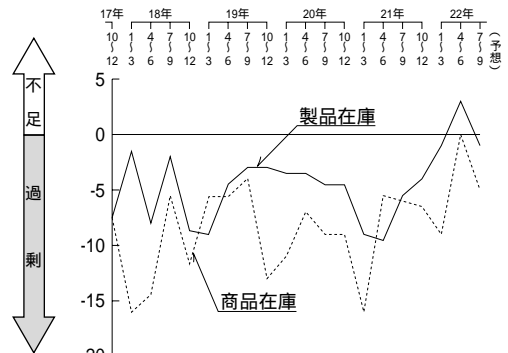
製品在庫のBSI「(不足 - 過剰) ÷ 2」は、木材・木製品と食品で過剰感が低下し、紙・紙加工品と電気機械で不足感が上昇したことから、22年4～6月は+3.0と1～3月の1.0から4.0ポイント改善し、不足感に転じた。7～9月は食品が過剰感に転じ、紙・紙加工品と金属・機械で不足感が低下することから、1.0と再び過剰感に転じる見込みである。

商品在庫のBSIは、卸小売業で過剰感が低下したことから、1～3月の9.0から4～6月は±0と過剰感が低下した。7～9月は卸売業が過剰感に転じることから5.0と過剰感に転じる予想となっている。

また、製造業における原材料在庫のBSIは、電気機械で不足感が低下したことなどから、4～6月は3.0と1～3月の2.0から1.0ポイント過剰感が上昇した。7～9月は、食品で過剰感が上昇するが、金属・機械

の過剰感低下、電気機械の不足感上昇により、±0.0と過剰感が低下する予想である。

図 - 7 製品・商品在庫のBSI



7 販売価格・仕入価格.....販売価格は低下、仕入価格は上昇

販売価格は7四半期連続で低下。

販売価格のBSI「(上昇-低下)÷2」は、低下幅が製造業で拡大したが、非製造業で縮小したことから、22年4～6月は10.5と1～3月の14.5から4.0ポイント低下幅が縮小した。7～9月は反対に、低下幅が非製造業で拡大するが、製造業で縮小するため、8.5と引き続き低下幅縮小の見込み。

製造業のBSIは、印刷・その他と木材・木製品で低下幅が縮小したが、窯業・土石が低下に転じたことなどから、4～6月は14.0と1～3月の12.0から2.0ポイント低下幅が拡大した。7～9月は食料品が上昇に転じる等により、7.5と6.5ポイント低下幅が縮小する予想となっている。

非製造業のBSIは、5業種すべてで低下幅が縮小したため、4～6月は5.0と12.0ポイント低下幅が縮小した。7～9月は建設業が低下に転じ、卸小売業で低下幅が拡大することから、8.5と低下幅拡大の予想である。

仕入価格は2四半期連続の上昇。

原材料仕入価格のBSI「(上昇-低下)÷2」は、製造業が上昇に転じ、非製造業で上昇幅が拡大したことから、22年4～6月は+10.5と1～3月の+2.5より8.0ポイント上昇幅が拡大した。7～9月は製造業の上昇幅拡大により、+13.0と2.5ポイント上昇幅が拡大する予想となっている。

製造業のBSIは、窯業・土石で上昇幅が縮小したが、電気機械と紙・紙加工品の上昇幅拡大等により、4～6月は1～3月の1.0から8.5ポイント増の+7.5と上昇に転じた。7～9月は+14.5と7.0ポイント上昇幅が拡大する予想である。

非製造業のBSIは、運輸業で上昇幅が縮小したが、建設業と卸売業で上昇幅が拡大したことなどから、4～6月は+14.5と1～3月の+5.5から9.0ポイント上昇幅が拡大した。7～9月は建設業と卸売業の上昇幅縮小により、+11.0と3.5ポイント上昇幅が縮小する見込み。

図 - 8 販売価格のBSI

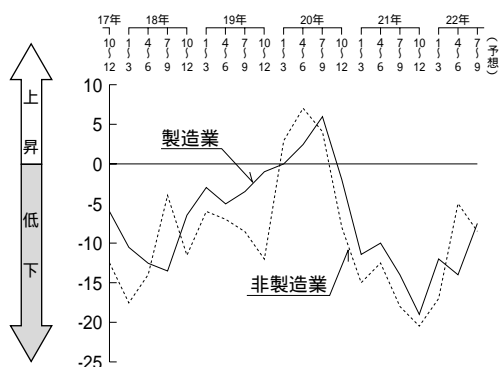
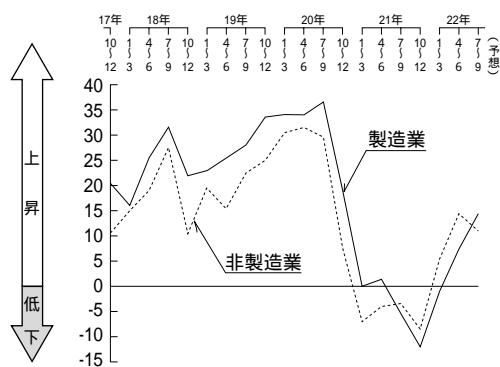


図 - 9 仕入価格のBSI



8 資金繰・借入金残高.....資金繰りは製造業、非製造業とも改善。

資金繰りは、製造業、非製造業とも改善した。

製造業における資金繰りのBSI「(楽-苦しい)÷2」は、電気機械等の改善により、22年4～6月は1～3月の+6.5から+7.5に改善した。7～9月は金属・機械や紙・紙加工品等の悪化により、+2.5と5.0ポイント悪化する予想となっている。

非製造業のBSIは、運輸業と建設業で悪化した。卸売業と旅館・ホテルで改善したため、4～6月は2.0と1～3月の6.5から4.5ポイント改善した。7～9月は卸売業の悪化により、3.0と1.0ポイント悪化する予想となっている。

借入金残高は、製造業は減少幅が拡大、非製造業は横ばい。

製造業における借入金残高のBSI「(減少-増加)÷2」は、金属・機械と木材・木製品が減少に転じたことなどから、22年4～6月は+18.0と1～3月の+13.0から5.0ポイント減少幅が拡大した。7～9月は木材・木製品と紙・紙加工品が増加に転じる等により、+13.5と減少幅縮小の予想である。

非製造業のBSIは、卸売業で減少幅が拡大するなどしたが、小売業等の減少幅縮小で、4～6月は1～3月の+12.5から+12.0とほぼ同水準であった。7～9月は、+13.5と減少幅が拡大する見込み。

図 - 10 資金繰のBSI

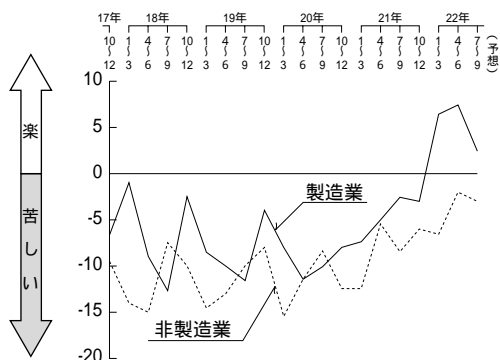
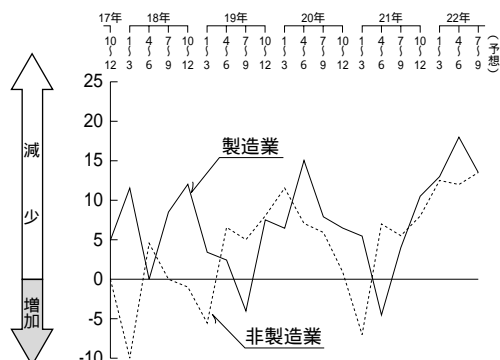


図 - 11 借入金残高のBSI



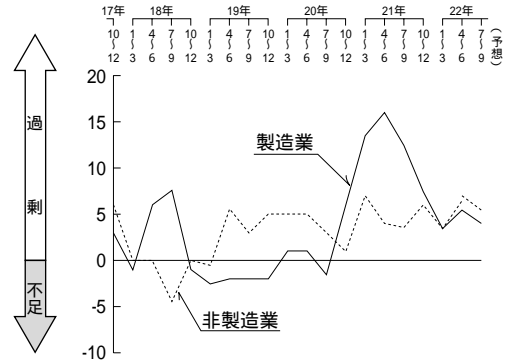
9 雇 用..... 製造業、非製造業とも過剰感が上昇

常用雇用のBSI「(過剰 - 不足) ÷ 2」は、製造業、非製造業とも過剰感が上昇した。

製造業のBSIは、金属・機械等で過剰感が低下したものの、印刷・その他が過剰感に転じたことなどから、22年4～6月は+5.5と1～3月の+3.5から2.0ポイント過剰感が上昇した。7～9月は繊維・縫製で不足感に転じる等により、+4.0と過剰感が低下する予想となっている。

非製造業のBSIは、小売業が不足感に転じたものの、建設業で過剰感が上昇したことなどから、4～6月は+6.5と1～3月の+3.5から3.0ポイント過剰感が上昇した。7～9月は旅館・ホテルと建設業の過剰感低下により、+5.5と1.0ポイント過剰感が低下する見込み。

図 - 12 雇用(常用雇業者)のBSI



10 設備投資..... 製造業、非製造業とも増加 補修・更新が主

22年4～6月に設備投資をした企業は回答企業の40%で、前年同期実績(28%)を12ポイント上回った。7～9月は、前年同期実績(31%)を9ポイント上回る同40%の企業が設備投資を計画している。

製造業における4～6月の設備投資実施割合は、金属・機械や窯業・土石等が上昇したことから、前年実績36%から15ポイント増の51%で、19四半期ぶりに過半数を上回った。投資目的(複数回答、構成比、この項目は建設業を含む)は、「補修・更新」73%(前年同期43%)、「増産・能力増強」27%(同43%)、「合理化・省力化」20%(同35%)、「新製品の生産」17%(同9%)だった。7～9月は、47%と前年同期実績(40%)を7ポイント上回る実施計画となっている。

非製造業における4～6月の実施割合は、小売業と建設業で低下したが、運輸業や旅館・ホテル、卸売業で上昇したことから、27%と前年実績(19%)を8ポイント上回った。投資目的(建設業を除く)は、「補修・更新」73%(同63%)、「販売力の増強」18%(同63%)、「新規事業」18%(同13%)、「事務所・倉庫等建築」9%(同0%)だった。7～9月は、31%と前年実績(20%)

を11ポイント上回る実施計画となっている。

表 - 1 業種別設備投資企業割合

()内は前年同期実績：単位%

	22年1～3月 実 績	22年4～6月 実 績	22年7～9月 計 画
全 産 業	32(24)	40(28)	40(31)
食 料 品	60(22)	58(50)	67(45)
繊維・縫製	0(33)	0(0)	0(0)
木材・木製品	0(0)	0(0)	33(33)
紙・紙加工品	33(40)	50(50)	25(25)
窯業・土石	0(0)	20(0)	0(25)
金属・機械	31(40)	75(36)	75(50)
電気機械	55(43)	57(54)	43(54)
印刷・その他	29(33)	33(17)	33(0)
製 造 業	37(31)	51(36)	47(40)
建 設 業	0(10)	11(13)	0(0)
卸 売 業	19(6)	18(5)	24(13)
小 売 業	60(38)	33(50)	56(40)
運 輸 業	25(25)	50(25)	50(0)
旅館・ホテル	40(25)	50(25)	50(60)
非 製 造 業	27(16)	27(19)	31(20)

図 - 13 設備投資実施企業の割合の推移

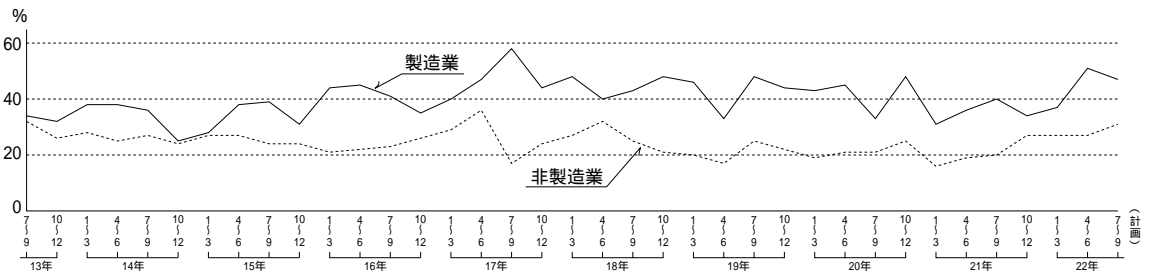
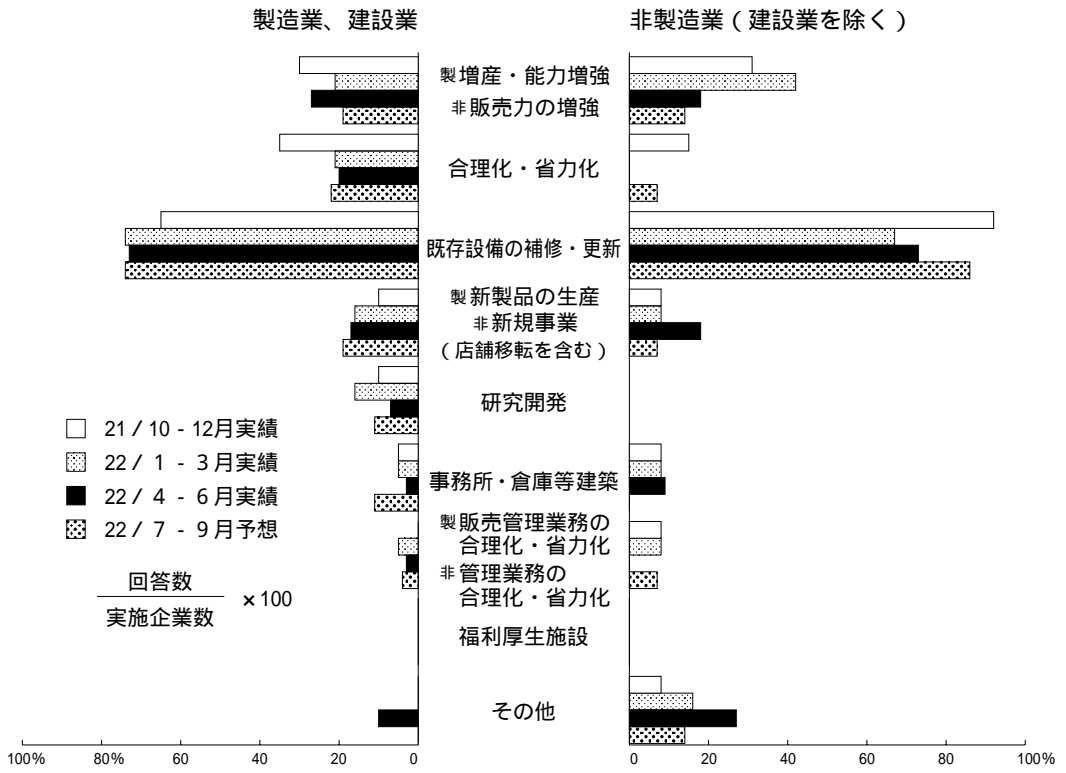


図 - 14 産業別設備投資の目的（複数回答、構成比）



11 経営上の問題点……「売上・受注の減少」、「先行き見通し難」、「過当競争」が上位

22年4～6月の経営上の主な問題点（2項目までの選択、回答なしを含む）は、「売上・受注の減少」50%（1～3月55%）、「先行き見通し難」44%（同27%）、「過当競争」27%（同23%）、「販売価格の低下」20%（同26%）、「仕入価格の上昇」12%（同11%）が上位項目だった。7～9月も、上位項目は同様の予想となっている。

製造業の上位項目は「先行き見通し難」51%（同38%）、「売上・受注の減少」44%（同56%）、「販売価格の低下」22%（同20%）、「仕入価格の上昇」18%（同11%）、「過当競争」18%（同20%）の順だった。7～9月は、「仕入価格の上昇」が24%で3位、「販売価格の低下」が15%で4位に入れ替わる以外は、4～6月と同様の上位項目予想となっている。

非製造業の上位項目は「売上・受注の減少」59%（同54%）、「過当競争」37%（同26%）、「先行き見通し難」35%（同13%）、「販売価格の低下」17%（同33%）、「人件費の増加」11%（同9%）の順だった。7～9月は、「先行き見通し難」が41%で2位、「過当競争」が28%で3位に入れ替わる以外は、4～6月と同

様の上位項目予想である。

図 - 15 経営上の問題点（上位5項目）

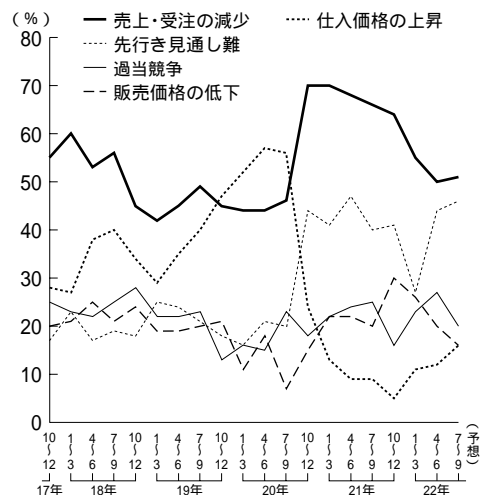


表 - 2 業種別 業況判断 B S I

業種	期 判断	22年1～3月実績				22年4～6月実績				22年7～9月予想			
		A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2
全産業		34	28	38	2.0	38	30	32	3.0	35	34	31	2.0
食料品		10	50	40	15.0	42	8	50	4.0	27	55	18	4.5
繊維・縫製		0	0	100	50.0	0	0	100	50.0	0	0	100	50.0
木材・木製品		0	33	67	33.5	0	33	67	33.5	0	0	100	50.0
紙・紙加工品		75	0	25	25.0	25	50	25	0.0	50	25	25	12.5
窯業・土石		75	25	0	37.5	40	40	20	10.0	0	80	20	10.0
金属・機械		46	31	23	11.5	75	8	17	29.0	83	0	17	33.0
電気機械		82	9	9	36.5	86	7	7	39.5	64	15	21	21.5
印刷・その他		22	56	22	0.0	33	34	33	0.0	33	34	33	0.0
製造業		44	31	25	9.5	54	18	28	13.0	46	27	27	9.5
建設業		30	40	30	0.0	22	45	33	5.5	56	11	33	11.5
卸売業		18	17	65	23.5	24	47	29	2.5	6	71	23	8.5
小売業		10	40	50	20.0	11	45	44	16.5	11	33	56	22.5
運輸業		50	0	50	0.0	0	75	25	12.5	0	50	50	25.0
旅館・ホテル		20	20	60	20.0	17	33	50	16.5	33	34	33	0.0
非製造業		22	26	52	15.0	18	46	36	9.0	20	44	36	8.0

表 - 3 業種別 売上高 B S I

業種	期 判断	22年1～3月実績				22年4～6月実績				22年7～9月予想			
		A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2
全産業		35	25	40	2.5	45	22	33	6.0	37	36	27	5.0
食料品		10	20	70	30.0	42	25	33	4.5	33	59	8	12.5
繊維・縫製		0	0	100	50.0	0	0	100	50.0	0	0	100	50.0
木材・木製品		0	33	67	33.5	0	0	100	50.0	0	33	67	33.5
紙・紙加工品		75	25	0	37.5	50	25	25	12.5	50	25	25	12.5
窯業・土石		75	25	0	37.5	40	40	20	10.0	0	80	20	10.0
金属・機械		46	23	31	7.5	75	8	17	29.0	83	0	17	33.0
電気機械		82	18	0	41.0	86	7	7	39.5	72	14	14	29.0
印刷・その他		13		38	12.5	33	34	33	0.0	33	34	33	0.0
製造業		43	26	31	6.0	56	18	26	15.0	49	30	21	14.0
建設業		20	50	30	5.0	22	22	56	17.0	33	34	33	0.0
卸売業		18	11	71	26.5	29	36	35	3.0	6	65	29	11.5
小売業		40	20	40	0.0	63	12	25	19.0	50	13	37	6.5
運輸業		50	25	25	12.5	0	50	50	25.0	0	50	50	25.0
旅館・ホテル		20	20	60	20.0	17	33	50	16.5	33	34	33	0.0
非製造業		26	24	50	12.0	29	30	41	6.0	23	43	34	5.5

表 - 4 業種別 経常利益 B S I

業種	判断	22年1～3月実績				22年4～6月実績				22年7～9月予想			
		A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2	A 増加	B 不変	C 減少	B S I A - C 2
全産業		38	24	38	0.0	36	23	41	2.5	36	32	32	2.0
食料品		40	20	40	0.0	33	25	42	4.5	37	36	27	5.0
繊維・縫製		0	0	100	50.0	0	0	100	50.0	0	0	100	50.0
木材・木製品		0	33	67	33.5	0	0	100	50.0	0	33	67	33.5
紙・紙加工品		75	0	25	25.0	33	0	67	17.0	33	34	33	0.0
窯業・土石		75	25	0	37.5	40	20	40	0.0	20	60	20	0.0
金属・機械		54	15	31	11.5	58	25	17	20.5	75	8	17	29.0
電気機械		82	9	9	36.5	79	7	14	32.5	64	15	21	21.5
印刷・その他		38	12	50	6.0	33	34	33	0.0	50	33	17	16.5
製造業		54	15	31	11.5	48	18	34	7.0	49	25	26	11.5
建設業		20	30	50	15.0	22	22	56	17.0	33	22	45	6.0
卸売業		12	47	41	14.5	25	31	44	9.5	6	56	38	16.0
小売業		20	40	40	10.0	11	45	44	16.5	22	45	33	5.5
運輸業		50	0	50	0.0	0	25	75	37.5	0	50	50	25.0
旅館・ホテル		20	20	60	20.0	33	17	50	8.5	33	17	50	8.5
非製造業		20	34	46	13.0	20	30	50	15.0	18	41	41	11.5

表 - 5 業種別 販売価格 B S I

業種	判断	22年1～3月実績				22年4～6月実績				22年7～9月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		5	61	34	14.5	6	67	27	10.5	7	69	24	8.5
食料品		0	70	30	15.0	0	67	33	16.5	8	92	0	4.0
繊維・縫製		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
木材・木製品		0	0	100	50.0	0	67	33	16.5	0	33	67	33.5
紙・紙加工品		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
窯業・土石		50	50	0	25.0	0	80	20	10.0	0	80	20	10.0
金属・機械		0	62	38	19.0	0	36	64	32.0	9	36	55	23.0
電気機械		0	91	9	4.5	7	64	29	11.0	7	79	14	3.5
印刷・その他		0		43	21.5	0	100	0	0.0	0	83	17	8.5
製造業		4	68	28	12.0	2	68	30	14.0	6	73	21	7.5
建設業		0	50	50	25.0	17	66	17	0.0	17	50	33	8.0
卸売業		6	59	35	14.5	12	69	19	3.5	6	75	19	6.5
小売業		20	40	40	10.0	22	45	33	5.5	22	34	44	11.0
運輸業		0	75	25	12.5	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
旅館・ホテル		0	40	60	30.0	0	67	33	16.5	0	67	33	16.5
非製造業		7	52	41	17.0	12	66	22	5.0	10	63	27	8.5

表 - 6 業種別 仕入価格 B S I

業種	判断	22年1～3月実績				22年4～6月実績				22年7～9月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2	A 上昇	B 不変	C 低下	B S I A - C 2
全産業		21	63	16	2.5	28	65	7	10.5	29	68	3	13.0
食料品		10	60	30	10.0	17	66	17	0.0	25	75	0	12.5
繊維・縫製		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
木材・木製品		33	0	67	17.0	33	34	33	0.0	33	67	0	16.5
紙・紙加工品		0	100	0	0.0	50	50	0	25.0	25	75	0	12.5
窯業・土石		25	75	0	12.5	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
金属・機械		23	62	15	4.0	33	42	25	4.0	58	34	8	25.0
電気機械		18	64	18	0.0	36	64	0	18.0	43	50	7	18.0
印刷・その他		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
製造業		15	68	17	1.0	25	65	10	7.5	32	65	3	14.5
建設業		13	74	13	0.0	50	50	0	25.0	17	83	0	8.5
卸売業		24	58	18	3.0	31	69	0	15.5	25	75	0	12.5
小売業		20	50	30	5.0	22	67	11	5.5	22	67	11	5.5
運輸業		100	0	0	50.0	50	50	0	25.0	50	50	0	25.0
旅館・ホテル		20	80	0	10.0	20	80	0	10.0	20	80	0	10.0
非製造業		27	57	16	5.5	32	65	3	14.5	25	72	3	11.0

表 - 7 経営上の問題点（上位項目）

（単位：％）

	問題点	17年		18年				19年				20年				21年				22年	
																				予想	
製 造 業	1 先行き見通し難	16	22	20	19	20	24	25	23	20	11	25	23	48	50	56	4	45	38	51	49
	2 売上・受注の減少	46	55	38	52	36	29	37	37	35	39	34	43	68	70	71	61	58	56	44	47
	3 販売価格の低下	18	22	22	23	20	20	18	17	24	11	21	7	11	22	15	16	24	20	22	15
	4 仕入価格の上昇	41	33	50	48	42	35	46	50	55	66	60	68	32	17	12	12	10	11	18	24
	5 過当競争	18	21	12	15	20	16	14	17	8	7	8	13	9	11	8	25	8	20	18	13
	6 諸経費の増加	15	16	25	11	12	18	18	21	20	14	26	16	4	4	5	12	10	9	16	15
	7 人件費の増加	9	7	13	5	7	2	11	8	10	4	4	9	5	2	3	7	6	5	7	7
	8 為替相場の変動	4	3	3	2	0	4	4	6	4	5	2	5	2	2	3	4	8	4	7	9
非 製 造 業	1 売上・受注の減少	67	65	69	62	54	53	53	60	55	49	55	50	73	70	63	71	72	54	59	57
	2 過当競争	33	25	33	36	37	28	31	28	18	27	22	35	27	36	42	2	26	26	37	28
	3 先行き見通し難	18	24	14	18	16	26	24	18	16	22	16	17	39	30	37	36	36	13	35	41
	4 販売価格の低下	23	20	29	20	28	19	20	22	18	12	14	6	20	23	29	24	38	33	17	17
	5 人件費の増加	7	2	5	2	2	0	7	0	4	2	2	4	2	0	6	13	4	9	11	9
	6 仕入価格の上昇	13	20	26	31	25	24	24	32	39	37	53	42	16	9	6	4	0	11	4	7
	7 諸経費の増加	12	12	9	11	23	10	9	10	8	10	16	13	12	2	2	27	0	7	4	4
	8 労働力不足	2	2	3	4	2	5	4	2	4	4	2	2	2	2	0	0	2	2	4	7

注：上位2項目の複数回答、回答数÷企業数（回答なしを含む）

目の前のパソコンが、<とりぎん>の窓口になります。

とりぎん

法人インターネットバンキング

～インターネットで経理業務のスピードアップ!～

目の前のパソコンが、<とりぎん>の窓口になります。
もちろん専用ソフトは必要ありません。
低コストで経理事務がスピーディに行えます。



料金等払込みサービス
「Pay-easy(ペイジー)」対応
税金等の各種料金をインターネットバンキングで
お支払いいただけます。(取扱収納機関 順次拡大)

サービスメニュー

Internet Banking

サービス		フルWeb	エコノミーWeb
照会・振込サービス	残高照会	○	○
	入出金明細照会	○	○
	振込・振替(当日扱い)	○	○
	振込・振替(予約扱い)	○	○
料金等払込みサービス「Pay-easy(ペイジー)」	各種料金等払込み	○	○
一括データ伝送サービス	総合振込	○	—
	給与振込	○	—
	賞与振込	○	—
	Net集金(口座振替代金回収)	○	—
	地方納税付	○	—
外為Webサービス	外国送金受付サービス	○	○
	輸入信用状受付サービス	○	○

サービス基本手数料【月額】

Internet Banking

	月額基本手数料(消費税込)
フルWeb版	3,150円
エコノミーWeb版	1,050円
フルWeb版+外為Webサービス	4,200円
エコノミーWeb版+外為Webサービス	2,100円

サービスに関するお問い合せ、お申込みは

<とりぎん>ビジネスWebサポートセンター



0120-86-4513

受付時間 平日/午前9時～午後7時 ※ただし銀行の休業日は除きます

TOTTORI
BANK



青い鳥の銀行です。

鳥取銀行

平成22年8月10日現在

発行 鳥取銀行 ふるさと振興部
くらしと経営相談所

〒680 8686 鳥取市永楽温泉町171番地
TEL 0857-37-0220

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています